

ジャパンパラ頑張る

水泳2選手ら 知事と名古屋市長訪問

名古屋市内で13日に開幕するジャパンパラ水泳競技大会の出場選手らが5日、県公館を訪れ、大村秀章知事と懇談した。写真①。大会に向けて意気込みを語るとともに、豊橋市で10月に開かれるジャパンパラゴールボール競技大会もPRした。

古屋市南区の日本ガイシアリーナで開かれる。

森会長は「来年のアジアパラ競技大会に向けて機運醸成につなげたい」と力を込めた。岡島選手は「日本記録を更新し、来年のアジアパラ大会で日本代表として戦えるように頑張る」、井戸選手は「世界レベルの選手に勝って、世界に羽ばたける大会にしたい」と抱負を述べた。

大村知事は「練習の成果を存分に発揮し、素晴らしいパフォーマンスを」とエールを送った。

屋市役所も訪問し、広沢一郎市長と面談②同下。広沢市長は来年のアジアパラ大会を踏まえ「パラ水泳の盛り上げにつなげれば」と13日に迫った大会に期待した。さらに「アジアパラ大会を機に市全体で現在、バリアフリーをバージョンアップしている。障害者の方が使いやすい街にしたい」と話した。

(鈴木啓太、福本英司)



訪問したのは、日本パラスポーツ協会の森和之会長と、ともにジャパンパラ水泳大会に出場する日本福祉大4年の岡島貫太さん(21)②。豊田市出身、同大2年の井戸夢翔さん(19)③。岐阜市出身。大会は13、15日、名古屋市内で開かれる。

大村知事は「練習の成果を存分に発揮し、素晴らしいパフォーマンスを」とエールを送った。

屋市役所も訪問し、広沢一郎市長と面談②同下。広沢市長は来年のアジアパラ大会を踏まえ「パラ水泳の盛り上げにつなげれば」と13日に迫った大会に期待した。さらに「アジアパラ大会を機に市全体で現在、バリアフリーをバージョンアップしている。障害者の方が使いやすい街にしたい」と話した。

(鈴木啓太、福本英司)